

# 国営総合農地防災事業（勇知地区、幌延地区）

泥炭土に起因する地盤沈下により、機能低下している排水路及び農用地の整備を行い、湛水被害等を解消することにより農業経営の安定を図り、国土の保全に寄与します。

## 地域の現状

●泥炭土に起因した機能低下が進行



## 事業の実施

●機能回復した排水路及び農用地



## 事業の効果

- 生産基盤の機能回復
- 粗飼料の生産性向上
- 機械作業の能率改善
- 酪農経営の安定化



整備後の農作業時間(hr/ha)比較



「安全・安心」な食料の持続的な安定供給

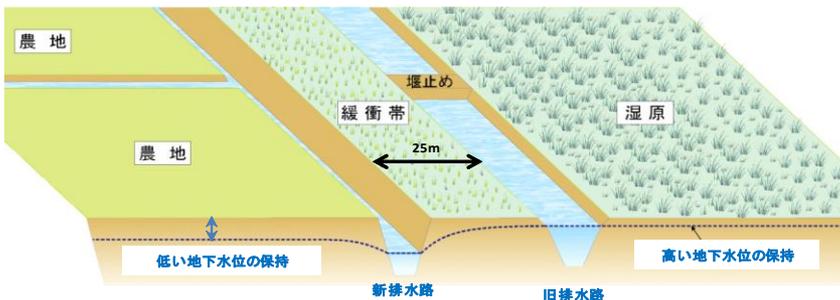
## 自然再生への取り組み（サロベツ地区）（R2完了）

※上サロベツ自然再生協議会とは、自然再生推進法（平成15年4月施行）により、個人・団体及び行政機関で構成される組織

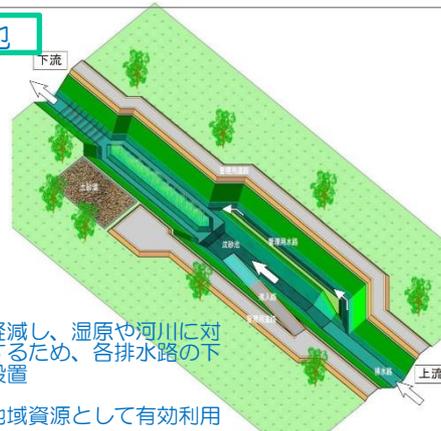
上サロベツ自然再生協議会（※）で策定された自然再生全体構想に基づき、農業と湿原の共生に向けた自然再生事業に取り組んでいます。このなかで、湿原の地下水位保持を目的に「緩衝帯」を、河川への土砂流出軽減を目的に「沈砂池」を設置しています。

### 緩衝帯

- 農地と湿原に適した地下水位の均衡を図るための緩衝帯を設置
- 農地側の新排水路により農地の低い地下水位を保持
- 湿原側の旧排水路は水を数力所でせき止めて池にすることで、湿原の高い地下水位を保持



### 沈砂池



- 土砂流出量を軽減し、湿原や河川に対する負荷を軽減するため、各排水路の下流部に沈砂池を設置

●堆積土砂は、地域資源として有効利用

- 緩衝帯設置の取組が、環境保全と農業振興を両立させる事業の進め方のモデルとして高く評価され、農業農村工学会賞『上野賞』を受賞



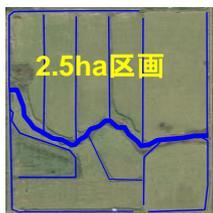
# 国営農地再編整備事業（東宗谷地区）

区画整理等による生産性の高い生産基盤の形成により、効率的な土地利用と農業経営の合理化を図ります。

## 実施内容

【事業実施前】

【事業実施後】



農地の大区画化  
農地の集積・集約化  
暗渠整備（排水改良）  
客土整備（地耐力改善）

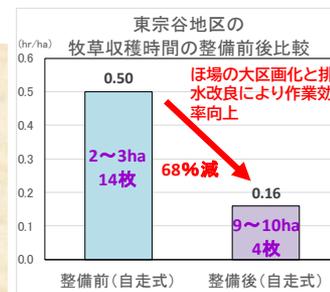
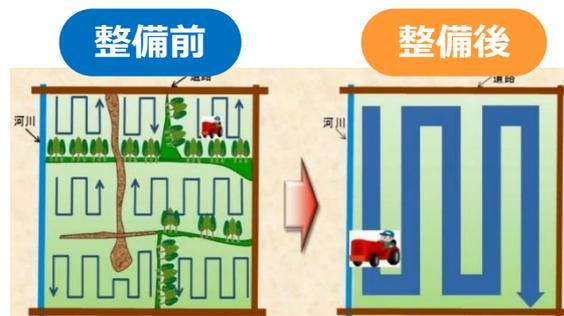


## 事業効果

- 牧草作付面積の拡大
- 牧草単収の向上
- 青刈りとうもろこしの新規作付け増

飼料自給率

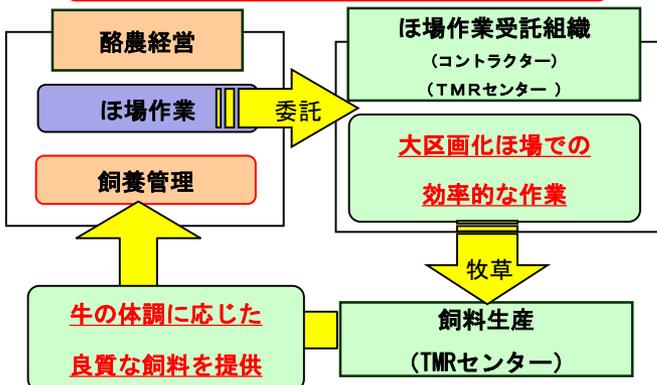
現況52%→計画66%



## 地域農業が目指す姿

大型農作業機械を活用した、家畜飼養と草地管理を分離することによる効率的な飼料生産体制の確立。

### ■ コントラクター・TMRセンター



### 外部労働力の活用



### 分業化

### 飼養管理・加工販売の専業（酪農家）



# 地域防災力向上のための〈支援メニュー〉

## 1 防災体制の強化

地域との連携・協働を  
大切に

- 1-1 防災情報の提供
- 1-2 大規模氾濫減災対策協議会
- 1-3 道路防災連絡協議会
- 1-4 道央圏・太平洋側港湾の防災連携

## 2 災害発生時の支援

組織と機能の  
総力をあげて

- 2-1 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）派遣
- 2-2 災害対策用機械による支援
- 2-3 広域防災フロートの派遣
- 2-4 大規模土砂災害発生時の緊急調査
- 2-5 特定緊急水防活動
- 2-6 雪害・暴風雪を踏まえた新たな取組

## 3 災害に強い地域づくり

ハードとソフトで

- 3-1 根幹的な社会資本整備（直轄事業）
- 3-2 ハザードマップ整備の支援
- 3-3 自治体と連携した防災訓練の実施
- 3-4 地域防災力向上のための支援
- 3-5 防災・安全交付金
- 3-6 津波防災地域づくり法

### TEC-FORCE 派遣



現地での活動状況 関係機関との打合せ状況  
宗谷総合振興局にリエゾンを派遣（R2.8 大雨災害時）

■重大な災害が発生、または発生のおそれがある場合、自治体と円滑な情報交換を行うため、自治体へTEC-FORCE（現地情報連絡員（リエゾン））を派遣します。

### 自治体と連携した防災訓練の実施



宗谷総合振興局 災害応急対策訓練（R4）

■災害時に円滑な活動を行えるよう、自治体と連携した各種訓練に取り組んでいます。

### 防災・安全交付金

地域の防災・減災、安全を実現する「整備計画」に基づく地方主体の取組について、支援します。

- 地域における総合的な老朽化対策  
（老朽化した社会資本の総点検、それを踏まえた緊急対策、長寿命化等戦略的維持管理・更新の実施を総合的に支援）
- 地域における総合的な事前防災・減災対策  
（地震・津波や頻発する風水害・土砂災害に対する事前防災・減災対策を総合的に支援）
- 地域における総合的な生活空間の安全確保  
（無電柱化、歩道拡幅、バリアフリー化などの通学路の交通安全対策の実施を支援）

### 災害対策用機械による支援



＜排水ポンプ車＞  
河川が氾濫した際の内水排除に使用する機械。  
＜散水車（給水装置付）＞  
断水が起こった際の水道水の給水に使用する機械。

■災害時の緊急対応や情報通信の確保のため、災害対策用機械を全道各地に配備しています。これらの機械は、自治体の要請に基づき貸与することができます。

### 一日防災学校や出前講座の実施



1日防災学校（中頓別小学校）（R4）

■災害時における北海道開発局の自治体支援（TEC-FORCE派遣）等や、災害対策用機械について、一日防災学校や出前講座を実施しています。

### 津波防災地域づくり法

東日本大震災の経験を踏まえ、ハード・ソフトの施策を組み合わせせた「多重防御」を総合的な地域づくりの中で効果的に推進するための法制度です。

「津波浸水想定」、「推進計画」に基づき、施設整備や警戒避難体制の整備、安全な土地利用への誘導等の総合的な推進が図られます。

# 宗谷管内におけるパートナーシップ活動について 〈地域の魅力向上〉

- ◆ 宗谷管内における定住人口の確保や交流人口の拡大を図るためには、「観光振興」や「誇れる郷土づくり」などが必要不可欠であり、そのための取組として、各地域で活動する多様な人材の発掘・育成や行政区に縛られない地域間連携が重要
- ◆ このため、稚内開発建設部では、「宗谷管内におけるパートナーシップ活動」として、宗谷版北海道価値創造パートナーシップ会議、南宗谷3町相互交流、学芸員等の相互交流の3つの取組を引き続き推進

## ○ 宗谷版北海道価値創造パートナーシップ会議

8期計画が掲げる「**多様な人材の緩やかな「つながり」とコミュニケーションの「ひろがり」を促進するためのプラットフォームの形成**」を目指し、H29から宗谷版北海道価値創造パートナーシップ会議を開催。ガイド付き観光の可能性のみならず、各地域で活躍されている方々に地域の魅力・取組を語っていただき、人材の横の連携を密にすることにより、**各参加者がそれぞれに刺激し合える関係を築き、宗谷地域に人を呼び込むためのきっかけづくりとなることを期待して開催**

### ◆ 令和4年度の取組内容

【日時】令和4年12月13日（火）14:00～16:00

【内容】第1部 講演「天北トレイル構想」なかとんべつ観光まちづくりビューロー 蓮尾 純一 氏  
第2部 意見交換会「宗谷の多様な人材の連携・協働による魅力発信について」

【出席者】・コーディネーター：エフエムわからない 杉谷 賢俊 氏

・パネリスト：12名

（稚内市歴史・まち研究会、クッチャロ湖エコワーカーズ、オホーツクミュージアムえさし など）

【主な意見(連携・協働)】

- ・郷土資料等のデータを蓄積しデジタルアーカイブ化を進めつつ、観光にも資する効果的な発信について、今後も管内で連携してテーマを増やすなど取組を広げていければ。
- ・宗谷の歴史・文化・自然等を活かした身の丈に合ったおもてなしやアウトドア体験時の天候不順に備え広域で屋内観光も用意するなど、垣根を越えて連携できれば。



講演



意見交換会

## ○ 南宗谷3町の相互交流

かつて旧枝幸村を構成していた南宗谷3町（浜頓別町・中頓別町・枝幸町）において、**人材や施設などの地域資源を隣接する町同士が連携して補完し合うなど、行政区に縛られない地域間連携の場を創出するための側面支援**を実施。

### ◆ 令和4年度の取組内容

- 枝幸高校総合文化研究部の生徒を対象に隣接する浜頓別町のクッチャロ湖において、**南宗谷3町で初めてのアウトドアガイド連携によるカヌー体験**を実施した。
- 「ほっかいどう学」の普及・啓発活動として、**自分の住んでいる地域や北海道について学ぶ意義**などを説明。



ほっかいどう学PR



アウトドアガイド連携によるカヌー体験



## ○ 管内学芸員等の相互交流

地理、歴史、文化、産業等に精通している**管内学芸員等が連携することにより、地域の魅力の発信に期待**。

当部では、宗谷管内学芸員連絡協議会など管内学芸員等と協働する取組として、以下の取組を実施

### ◆ 令和4年度の取組内容

- 管内市町村でのパネル等の**巡回展「北のコウモリ」**の開催
  - ・稚内開発後援、TwitterでPR
- **オホーツク文化に関する研修会等**の開催（5月実施）
  - ・稚内開発から8期計画、PS活動等PR
- 宗谷管内学芸員連絡協議会を中心とした各市町村と連携し、管内の**魅力ある文化資源や歴史的な名所などをデジタルアーカイブ化し、未来へ残したい「宗谷遺産」**として、HP上にカード形式で公開。観光振興のツールとしても活用。



巡回展



宗谷遺産アーカイブズ